



本号の主な内容

- 2面 美しい日本の歴史的風土100選 選定記念フォーラムを開催
- 3面 【技術レポート No.023】 「総合評価落札方式と公共造園工事」
- 4面 【総・支部だより】北海道総支部 / 青森県支部 / 四国総支部 事務局だより



理事会のもよう

平成18年度
第2回

理事会を開催

平成18年度第2回 通常理事会開催

平成19年度暫定予算、総支部・支部規程 改正等について説明

平成18年度第2回通常理事会が3月28日(水)東京麹町の弘済会館で開催された。

冒頭、佐藤会長は、「ビジョン21及び財政・運営基本

対策の策定にあたっては、理事の皆様から貴重な意見をいただき、また、会員の皆様方には会費の改正について承諾をいただき、誠にありがとうございました。

次いで、小川陽一国土交通省都市・地域整備局公園

山「みどり」なのである。

古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

は、神社仏閣などの歴史的な建造物や古墳などの遺跡が、周囲の山丘や河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

山「みどり」なのである。古都に限らず、一般に美しいと評価されている日本のまちは、河川、田園景観などの「みどり」と一体となつて日本らしい風情を醸し出している様子。歴史的風土である。歴史的な景観というところ、ややもすれば町屋などの古い建物に目を奪

議事では、平成18年度補正予算(案)、平成19年度暫定予算(案)、総支部・支部規程の改正等及び会員の入退会等の議案について審議し、承認された。また、「財政・運営基本対策」の中で経費節減対策として事務所移転が検討され、井門本郷ビル(東京都文京区本郷2の17の17)(交通機関 JR 総武線 水道橋駅 徒歩5分・地下鉄 本郷3丁目駅・徒歩3分)に内定した。

「日本造園建設業厚生年金基金」のご案内

将来の不安解消、優秀な人材確保

「経審」加点点で総合評価対応も万全

社員・企業に大きなメリット

の基金 業年金 厚生年金

安全・安心の確保が国の最重要課題とされるなか、老後の生活など、将来の暮らしに対する不安の解消も大きな社会問題となっている。こうした中、造園業界においては、造園業界の厚生年金基金として、まもなく設立25周年を迎える「日本造園建設業厚生年金基金」が、業界で働く人々や事業主の大きな支えとなっている。

将来への不安では、年々、する所となっているが、こつているのが「日本造園建設業」問題が多くの人の懸念。こうした不安の解消にも役立つ「設業厚生年金基金」。現在、

100選受賞の報告を掲載している。徐々にはあるが確実に、「まちづくりに歴史や文化を活かす」とが、一般の市町村の関心の的になり始めていると感じている。

翻ってみると、人工物がみどりに溶け込んだ日本の風景の美しさと、

方々が、日本の風土が濃縮された日本庭園に、「本物の日本」を感じていただいた結果だと思つた。

これからのまちづくりの課題は、我々の子供たちが日本に生まれ育ったことを誇りに思えるような、日本らしい風土の具現化にあると考える。そのためには、建物などの人工物がみどりと一体となった風景を作り出すための思想と技術が必要である。また、できることならば、みどりの中に溶け込んだ建物には、歴史と文化を感じさせる配慮がなされてほしい。そして、このような思想と技術、歴史・文化への配慮こそは、日本庭園がもつとも得意とするものであると思つた。

日本庭園の思想と技術こそが、これからのまちづくりを変えていく可能性がある。

日本庭園の思想と技術がまちづくりを変える

国土交通省都市・地域整備局公園緑地課緑地環境推進室長 角南 勇二



われがちであるが、本来、日本の風景の美しさは、これらの歴史的な建物が、周囲の里山や河川、田園景観と一体となった美しさにあり、これこそが「歴史的風土」である。そして実際、古都保存法が直接守ろうとしている対象は、社寺仏閣などの裏

古都保存法で守ろうとしたもの

古都保存法で守ろうとしたもの

古都保存法で守ろうとしたもの

お知らせ

平成19年度 通常総会 東京・赤坂で6月20日

平成19年度 通常総会を6月20日(水)東京都千代田区紀尾井町1-12の赤坂プリンスホテル五色1階・新緑にて開催します。会員多数のご出席をお待ちしています。

建設業においては、今後一般競争入札が本格的に導入され、その審査にあたる総合評価でも、社内の福利厚生が評価される場合も少なくない。将来を不安からず、安心して働ける環境が、より良い仕事につながる。品質確保はもちろんです。

さらに、少子高齢化は、年金、そのものへの影響も大きい。就業者の減少という、働き手を確保しなければならぬ企業にとって、もう一つの深刻な問題となっている。

団塊の世代の退職がはじまり、人材確保はこれからが正念場。建設業における優秀な人材確保は、さらに困難といわれており、企業のイメージアップ、若者が働き甲斐があると思える福利厚生の充実が欠かせない。

「日本造園建設業厚生年金基金」への加入は随時可能。これからの時代に対応した経営を行うために、同基金の活用が望まれる。

詳細・問い合わせは同基金(東京都豊島区東池袋1の12の5、☎03・3985・1471)



シンポジウムのもよう(あいさつする田邊委員長)

古都保存法施行40周年記念事業 美しい日本の歴史的風土100選 選定記念フォーラムを開催

古都保存法施行40周年記念事業として進められていた「美しい日本の歴史的風土100選」の選定記念フォーラムが3月2日、東京・千代田区霞ヶ関の弁護士会館大講堂で行われた。100選では、世界文化遺産指定地域の41都市、古都保存法の古都指定都市の10都市の重複を除く47都市を特別枠として選定したほか、全国101都市に所在する歴史的風土を100選、さらに116都市を「準100選」として選定した。

100選は、国土交通省、文化庁、全国知事会ほかの後援を得て、7古都保存財団、7公園緑地管理財団、6日本公園緑地協会など関連10団体で構成する「美しい日本の歴史的風土100選」実行委員会(平山郁夫顧問・田邊昇学会長)が主催。選定は、高階秀爾東京大学教授を委員長とする選定委員会で行われた。フォーラムでは、田邊実行委員長が「日本には多くの保存すべき歴史的風土があるもののその評価が難しく、保全が困難なものも多

く存在している。しかし、歴史の風土を生かしたまちづくりは、これから欠かせない。国土交通省でも既に、観光立国の達成が期待される。地域の誇り、国民の資産として、今回の選考がその第一歩になることを願っている」とあいさつ。次いで、国土交通省から中島正弘都市・地域整備局長が「鎌倉の保全から昭和41年に議員立法された古都法は昨年40周年を迎えた。これまでの経済性や利便性が重視され、美しさは二の次とされてきたが、美しさをもちとも大切にすべきも

た。また、式典や高階委員長の基調講演の後、越澤明北海道大学大学院教授を「コーディネーター」に、アレックス・カー(株)取締役会長、進士五十八(東京農業大学教授)、陣内秀信(法政大学教授)、毛利和雄(NHK解説委員)がパネリスト参加し、シンポジウムを開催。シンポジウムでは、越澤氏が「古都保存法がなかったら」と、同法によって開発を防ぎ、また、保存だけでなく、良好な空間に再生、創出することができたことを指摘。日本の歴史的風土は、場所と人で行

事によって育まれたものであると、安藤広重の江戸百景に描かれた両国の花火、水道橋駿河台・鯉のぼりの一例を紹介。さらに、幾何学的で噴水を用いるなど、人為を強調した西洋の庭園、自然を生かし自然らしく水は高低に流れる日本の庭園の違いを示し、「こうした文化が歴史的風土の根底にあるとした。また、安倍総理が「美しい日本」を掲げる以前の平成17年に「美しい日本」をテーマにした展覧会が大江戸博物館で開かれるなど、日本の歴史的風土を見直す大きな流れはすでに存在し、日本人が海外の小都市を訪れるようになってきているように、実は海外からの日本の小都市観光も進んでいるとした。

パネリストからは、「こうした国内外からの関心を集める歴史的風土を保全・創出する好例とともに、開発などによる喪失が懸念されたい」と語った。

「これを受け、越澤氏が、地域のことは地域で考えた方がいいはずとの考えから、地方分権が進んだが、必ずしもそうとは限らない場合もある。地方自治体の中だけでなく、国としての共有財産である歴史的風土について、改めて考える契機として、素晴らしい日本の歴史的風土の保全・創出を図っていき」と語った。

「アマゾン群馬の森」を守る。地球の裏側にある日本から最も遠い国・ブラジル。赤道直下に広がる熱帯雨林原生林のうち、540haは群馬県にゆかりの地です。そこには「アマゾン群馬の森」と呼ばれる森が存在します。「アマゾン群馬の森」は、1992年にブラジル・リオ・デ・ジャネイロで開催された「地球サミット」が契機となり、在北伯群馬県人会の岡島博会長と故・久保田富一郎元群馬県議会議長が21世紀に向け、地球環境問題、アマゾン熱帯雨林保全について深い理解を示し、ブラジルで初めての民間団体による環境事業として出発したものです。当時、久保田先生とともに私は群馬県内の各学校で募金活動を行い、知人・友人・会社と多くの皆様に協力していただき、ようやく資金を調達することができ、「アマゾン

群馬の森」が形になりました。それから、地球の未来を担う子どもたちに原生林の大切さを知ってもらうため、群馬県内の子どもたちによる現地視察「子ども緑の大使」を派遣したり、原生林の保全に向けて、さまざまな活動を行ってきました。昨年10周年を迎えた「アマゾン群馬の森」は、平成17年、愛知県で開催された世界万博「愛・地球博」において、アマゾン群馬の森環境保全プロジェクトが認められ、地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に向けた、世界を代表する100の優良技術の一つとして「愛・地球博」賞を頂くことができました。http://amazon-gunma.jp、infoseek.co.jp、山田忠雄(群馬県支部長)

人事異動

国土交通省都市・地域整備局関係
(新所属・氏名(旧所属)順)
3月31日付
辞職(宮城県土木部次長)藤吉信之(都市計画課企画専門官)
辞職(愛知県建設部公園緑地課主幹)若山健(中部地方整備局建設部公園調整官)
4月1日付
大臣官房付・公園緑地課「柳野良明(宮城県土木部建設交通局長) 都市計画課環境計画課室長補佐(

北海道開発局札幌開発建設部園管室長補佐(鹿野央(公園緑地課課長補佐(併)内閣府大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室長補佐(併)大臣官房都市再生機構連絡調整室) 再生機構連絡調整室) 内閣府沖縄総合事務局 開設建設部公園・まちづくり調整官「田畑正敏(大都會圏整備課長補佐) 公園緑地課課長補佐「大森均(大臣官房人事課長補佐) 公園緑地課課長補佐「山田祐三(公園緑地課課長補佐) 環境推進課課長補佐(

北陸地方整備局園管越後丘陵公園事務所長「坪内昭雄(北陸地方整備局企画部技術管理課長) 近畿地方整備局園管飛鳥歴史公園事務所長「藤野健一(日本建設機械化協会施工技術総合研究所研究第4部長) 中国地方整備局園管備前北丘陵公園事務所長「永田智久(中国地方整備局土師ダム管理課長) 四国地方整備局園管讃岐まんのう公園事務所長「則勢(すなわち・せい)(四国地方整備局野村ダム管理所長)

画官

辞職(都市再生機構業務第三部公園計画チームリーダー)古澤達也(公園緑地課緑地環境推進室企画専門官)
辞職(愛知県建設部公園緑地課主幹)若山健(中部地方整備局建設部公園調整官)
4月1日付
大臣官房付・公園緑地課「柳野良明(宮城県土木部建設交通局長) 都市計画課環境計画課室長補佐(

緑 滴

「アマゾン群馬の森」を守る。地球の裏側にある日本から最も遠い国・ブラジル。赤道直下に広がる熱帯雨林原生林のうち、540haは群馬県にゆかりの地です。そこには「アマゾン群馬の森」と呼ばれる森が存在します。「アマゾン群馬の森」は、1992年にブラジル・リオ・デ・ジャネイロで開催された「地球サミット」が契機となり、在北伯群馬県人会の岡島博会長と故・久保田富一郎元群馬県議会議長が21世紀に向け、地球環境問題、アマゾン熱帯雨林保全について深い理解を示し、ブラジルで初めての民間団体による環境事業として出発したものです。当時、久保田先生とともに私は群馬県内の各学校で募金活動を行い、知人・友人・会社と多くの皆様に協力していただき、ようやく資金を調達することができ、「アマゾン

群馬の森

群馬の森」が形になりました。それから、地球の未来を担う子どもたちに原生林の大切さを知ってもらうため、群馬県内の子どもたちによる現地視察「子ども緑の大使」を派遣したり、原生林の保全に向けて、さまざまな活動を行ってきました。昨年10周年を迎えた「アマゾン群馬の森」は、平成17年、愛知県で開催された世界万博「愛・地球博」において、アマゾン群馬の森環境保全プロジェクトが認められ、地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に向けた、世界を代表する100の優良技術の一つとして「愛・地球博」賞を頂くことができました。http://amazon-gunma.jp、infoseek.co.jp、山田忠雄(群馬県支部長)

技術レポート No. 023

総合評価落札方式と公共造園工事

(社)日本造園建設協会 技術調査部長 野村 徹郎

本としたさまざまな取り組みがなわれているので、品確法の復舊も含め最近の動きを紹介する。

1 公共工事の品質確保の促進に関する法律 (平成17年4月からの施行)

この法律は、良質な社会資本整備を進めるために公共工事の品質確保が欠かせないものであることにかんじ、品質確保の基本理念と促進に関する基本的事項を定めることにより、国民の福祉向上と経済の健全な発展に寄与することを目的としたものである。公共工事の対象となる。

基本的理念は、発注者と受注者がそれぞれ役割を果たすこと、価格以外の多様な要素を考慮し、価格と品質が総合的に優れた内容の契約がされること、入札・契約の透明性、競争の公正性が確保され、不正行為の排除が徹底されること、民間の能力が活用されること、請負契約が対等な立場で公正に締結され、履行されること、調査、設計の品質が確保されること、であり、この理念をもとに公共工事の品質確保を促進するためのポイントが

他、他府庁等との緊密な協力体制の下、各種施策の実施を推進することとされている。

2 一般競争入札の拡大

談合等の不正行為を排除し、入札手続における競争性、透明性の向上と発注者責任の明確化を目的としているもので、品確法では、公共工事の発注者に対して、「入札・契約方式の適正な選択」や「評価を適切に実施すること」等が責務とされている。原則的には従来型の指名競争入札はなくなり、一般競争入札方式を基本とするが、その実施が困難な場合でも、工事希望競争入札方式を原則として、競争性、透明性の向上を図ることがされている。

3 総合評価落札方式の導入

価格だけで評価していた従来の入札方式から、価格と新しい技術やノウハウなど価格以外の要素を総合的に評価して優れた調達への転換を図ることも、工事希望競争入札方式も総合評価の対象となっている。

きの客観性が高く、発注者の裁量の余地が小さい。手続の透明性が高く、第三者による監視が容易に入札に参加する可能性のある潜在的な競争参加者の数も多く、競争性が高い。とされるが、無制限の一般競争方式では、施工能力の乏しいものが落札し、公共工事の品質低下や工期の遅れ等をもたらす恐れがある。建設業者の施工能力や技術力の審査を適切に行い、優秀な民間技術力を最大限に引き出すために導入されたのが次の総合評価方式である。

総合評価方式は、価格・品質を数値化した「評価値」の高いものを落札者とするもので、品質は、企業の持つ技術力、提案や施工実績、工事成績などとともに、安全性や環境への配慮など、事そのものが評価対象となる。

4 緊急公共工事品質確保対策の実施 (平成18年12月)

関東地方整備局のガイドラインでは、造園工事での総合評価落札方式の導入が示されているが、平成18年度版では技術評価点を構成する加算点の満点が平成17年度版に比べ増大している。

また、総合評価方式使用に際しマニュアルを公開、地方公共団体に向けたマニュアルの公開による導入促進、品確法、総合評価方式、総合評価の手続きの仕方について解説、地方公共団体で導入が進む入札制度の参考、が図られている。



総合評価方式使いこなしマニュアル

市区町村向け簡易型の総合評価実施マニュアルの作成と活用等により総合評価方式の一層拡充等を推進することとされており、地方公共団体での総合評価制度の導入が加速されることは間違いない。

び技術提案の評価に当たって、造園の専門技術者、学識経験者等造園技術者を適正に判定できる体制の下での実施、「造園関連認定資格者の配置を資格審査要件とする」などを要望している。

入札契約制度の改革を始め、造園工事を取りまく環境が激変する中日造協等は造園技術を磨くことにより、他種と差別化できる技術の保持を旨指なければならぬ。

今後とも建設業法に基づく許可建設業として土木等他の建設業に埋没しないためにも、造園建設業界としてアピールを続けていく活動が必要である。

「入札契約制度対応分科会」では、総務、技術、事業委員会と各県のモニター委員に対して公共造園工事での総合評価落札方式による運用の実態を把握し、事例の解析と課題の抽出を行うこと、今後さらに造園工事には必要とされる入札契約方式のあり方を提案するため、総合評価方式に関するアンケート調査を昨年10月に実施した。その結果を具体的なバックテータとして、導入が進められている公共造園工事の総合評価方式の運用についての要請活動を行うべく計画である。

品確法や総合評価方式の詳細については、国土交通省のホームページや各種の入札書が出版されているので、あわせて参考にされたい。

【総合政策局建設・不動産課等】
http://www.mlit.go.jp/sogoseis/aku/cons/index.htm
【中央建設業協会】
http://www.mlit.go.jp/singikai/kenseisugyou/kenseisugyou.html
【緊急公共工事品質確保対策】
http://www.mlit.go.jp/kishakish/a06/00/01/208.html
【入札】
http://www.mlit.go.jp/kishakish/a06/00/01/208.html
「公共工事品確法と総合評価方式」
条文解説とO&A50問
(相模書房 定価1,800円)

5 都道府県の公共調達改革に関する指針 (平成18年12月)

全国知事会では、公共工事をめぐる一連の不祥事を深刻な問題と受け止め、「全国知事会、公共調達に関するプロジェクトチーム」を結成し、官製談合の防止と入札制度改革を中心に検討を進め、今後の公共調達改革の指針として緊急報告が行われ、プロジェクトチームにおいて、次の事項が確認された。

内部通報制度の整備、職員の再就職制限とOB等からの働きかけ防止、一般競争入札の拡大と指名競争入札の原則廃止、総合評価方式の拡充、ペナルティの強化、地域産業の育成と公正な競争の確保、建設業界の談合根絶の掃、優、良取り組み事例の情報の共有化

6 中央建設業協議会

平成19年3月15日に開催された中央建設業協議会ワーキンググループ第2次中間とりまとめ(案)によれば、

「造園建設業の技術的能力の審査及

国土交通省における緊急公共工事品質確保対策 概要

国土交通省における緊急公共工事品質確保対策 概要 (平成18年12月8日)

- 国土交通省の監督・検査等の強化
- 受注者側の監視体制の強化
- 受注者へのペナルティ強化
- 追加対策の概要

	H17	H18	H19(案)
件数	431件	900件	409件
割合	4.0%	8.1%	3.2%
発注者別(発注率)	30.8%	30.5%	30.8%



三木総合防災公園陸上競技場

また、昨年11月1日から本年1月末までの3ヶ月間、タイ王国チェンマイ市で開催された国際園芸博覧会「ロイヤル・フローラ・ライチャブルック2006」に、兵庫県は京都府・大阪府と共同で参加しました。枯山水様式で表現した三府県共同の展示が好評でした。丹波地域の新たな交流拠点施設となることと期待されています。

平成19年度も、県立都市公園を通じ、「元気なひまわり」づくりを進められることと期待されています。

(兵庫県支部事務局長・藤沢昭則)

庭町箱

兵庫県では、昨年度、全国からいただいた阪神・淡路大震災からの復興への支援を感謝して、「ありがとう」心から「ひまわり」からの「スローガン」のもと、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」と第6回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」を開催しました。天皇皇后両陛下、皇室の方々、そして全国各地から多数の選手、関係者、お客様をお迎えし、成功裏に終えました。神戸市立の神戸総合運動公園での開閉式をはじめ、三木総合防災公園、尼崎の森中央緑地、淡路野運動公園などの県立都市公園や県内各市町の都市公園、運動施設などが競技会場となり、熱戦が繰り広げられました。

また、着工から15年をかけた整備を進めていた丹波並木道中央公園の一部開園が予定され、現在、指定管理者の募集作業が進んでいます。

平成19年度の話題では、まず、三木総合防災公園の屋内テニスコートがオープン予定です。これは、災害時の応急活動要員の駐屯の場所となることにも、兵庫県のテニス競技の向上にも資する全9面が屋内という日本で最大級の建物です。鉄骨テラス構造で、屋根面の緑化や太陽光発電など、環境や景観に配慮されています。

また、着工から15年をかけた整備を進めていた丹波並木道中央公園の一部開園が予定され、現在、指定管理者の募集作業が進んでいます。

平成19年度も、県立都市公園を通じ、「元気なひまわり」づくりを進められることと期待されています。

「冬期集中特訓講座」 講習会を開催

北海道総支部

北海道総支部は、2月27日に現場代理人を対象とした「冬期集中特訓講座」講習会を、当総支部技術委員会「緑化マネジメント研究会」の活動の一つとして、参加者を20名に限定し開催した。

北海道は、冬季は仕事が比較的手薄となるため、この期間を利用して現場代理人に普段なかなか接する機会が少ないテーマを題材に技術向上の推進を図ることを目的に開催した講習会である。

講師として、国土交通省北海道開発局との関わりが深い齋藤新一郎氏（環境林づくり研究所長）を迎え、氏の持っているノウハウを短期間に学習理解をし、今後の活用の手立てを求めた。

テーマは、「最先端の北海道の緑化技術および造園技術者の地位向上のための再教育」

1. 緑化樹木を体系的に理解する 学名で覚える樹木名

2. 造園技術者の地位向上のための再教育

① 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

② 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

③ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

④ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑤ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑥ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑦ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑧ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑨ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑩ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑪ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑫ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

⑬ 地球環境保全に緑の果たす役割 一酸化炭素を固定する緑のメカニズム

総・支部 だより

各総支部・支部からの記事を紹介しします

毎の疑問点などをまとめて再度講師に質問としてぶつけて認識・理解を深めていた。

また、最後に聴講生全員に今回の講習会についての各自の受け止めを感想文として提出してもらった。北海道総支部としては、今回このような形で現場代理人を対象とした講習会を

初めて開催したが、単なる知識や計算上の技術だけではなく、現場の実情などの要素が絡まってきたことからは、今後の造園業界の発展にもつながる可能性が多く含まれているので、継続的な開催を進めていきたいと考えている。

（事務局長・高橋勲）



④ 講師説明の後、グループに別れ自由討議を行った

「四国へんろみち整備事業」 300万歩のうち6歩が完成

四国総支部

弘法大師ゆかりの霊場八十八箇所を巡る四国遍路は古くから一般庶民の間で定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれる支援により支えています。

10日ほど前に、京都の大学に在籍中の近所の若者が「四国歩き遍路」に出発しました。旅の目的は「自分を見つめるため」と聞きまし

た。45日間の予定で八十八ヶ所の札所を巡るそうです。その距離は約1400kmといわれています。今頃は、徳島県第23番札所栗生寺から高知県第24番札所最御崎寺までの83.4kmの難所を、太平洋を左に見ての行程入りでしょう。今では、バス

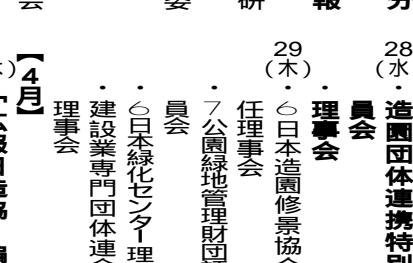
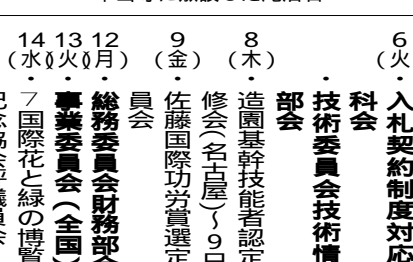
タクシー、自家用車、自転車を利用しての巡礼等、様々な方法がありますが、車両を利用して八十八箇所をすべて巡ることは困難です。彼も相当の決意での出発でしょう。「結願」という目的に向かって歩いていきます。

四国総支部では平成15年度より四国へんろみち整備事業を進めてきました。平成15年には徳島県を出発し、高知県、愛媛県と巡り、今年には香川県で行いました。寺院や遍路道沿いには樹齢数百年の貴重な樹木が数多く生育しており、道標や山道の敷石など、造園業でなければ整備維持が出来ないものも多いかと思われます。私たちの目で1400kmの道を見ると、行きたいことは山ほどありましたが、今出来ることは少ないもので

あります。とここで、四国八十八箇所「遍路文化」を世界遺産にしようという動きを存心してよつが、平成18年11月30日、徳島県・高知県・愛媛県・香川県の4県共同で、文化

検討した結果、第70番札所本山寺（香川県三豊市）の仁王門前に自然石乱張（庵治石）の敷石を敷設することになりました。お遍路さんが必ず歩く門前であり、この石畳に「お接待」の心を込めた、「へんろみち」300万歩のうち、6歩の完成です。

本山寺に敷設した庵治石



花と緑で美しい日本へ 「縄文の風」感じる会場で開催

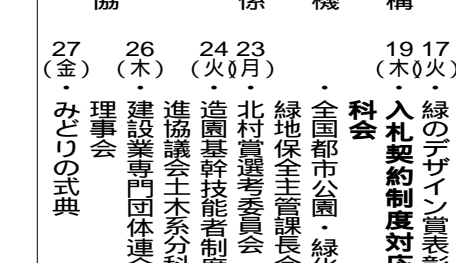
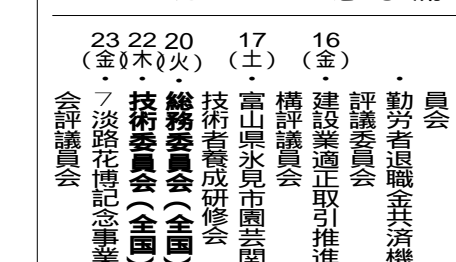
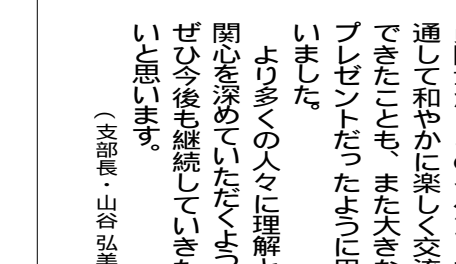
青森県支部

平成18年11月、都市公園法施行50周年を記念し、「全国造園フェスティバル2006花と緑で美しい日本を」のスローガンのもと日造協一斉イベントが実施されました。

当青森県支部では、11月3日、青森市内三内丸山の縄文時遊館で球根やハーブ・

野菜の種を無料配布、造園事業の役割や緑の環境造りに理解を深めていただくようパネル展示やパンフレットの配布を行いました。

会場となった公園「三内まほろばパーク」は日本最大級の縄文集落跡があり、平成12年には国の特別史跡に指定されております。14



事務局の動き

- 【3月】
 - 5月「広報日造協」編集
 - 6月「入札契約制度対応分科会」
 - 7月「技術委員会技術情報部会」
 - 8月「造園基幹技能者認定研修会（名古屋）9日」
 - 9月「佐藤国際功労賞選定委員会」
 - 12月「総務委員会財務部会」
 - 13月「事業委員会（全国）」
 - 14月「国際花と緑の博覧会記念協会評議員会」
 - 15月「造園基幹技能者試験委員会」
 - 16月「中央労働災害防止協会安全予知委員会」
 - 17月「国土交通省入会法人監査造園基幹技能者運営委員会」
 - 18月「勤労者退職金共済機構評議員会」
 - 19月「建設業適正取引推進機構評議員会」
 - 20月「総務委員会（全国）」
 - 21月「技術委員会（全国）」
 - 22月「7 淡路花博記念事業協会評議員会」
- 【4月】
 - 5月「広報日造協」編集
 - 6月「造園CPD協議会」
 - 7月「街路樹剪定士指導員認定研修会、13日」
 - 8月「建設系CPDシステム部会」
 - 9月「全国都市計画主管課長会議」
 - 10月「緑のデザイン賞表彰式」
 - 11月「入札契約制度対応分科会」
 - 12月「全国都市公園・緑化・緑地保全主管課長会議」
 - 13月「北村賞選考委員会」
 - 14月「造園基幹技能者制度推進協議会土木系分科会」
 - 15月「建設業専門団体連合会理事会」
 - 16月「みどりの式典」
- 【5月】
 - 17月「マクシオンプログラム推進等特別委員会」
 - 18月「民間都市開発機構理事會」
 - 19月「7 都市緑化技術開発機構評議員会」
 - 20月「造園団体連携特別委員会」
 - 21月「6 日本造園修景協会常任理事會」
 - 22月「7 公園緑地管理財団評議員会」
 - 23月「6 日本緑化センター理事會」
 - 24月「建設業専門団体連合会理事會」
 - 25月「7 公園緑地管理財団評議員会」
 - 26月「6 日本緑化センター理事會」
 - 27月「建設業専門団体連合会理事會」
 - 28月「7 公園緑地管理財団評議員会」
 - 29月「6 日本造園修景協会常任理事會」
 - 30月「7 都市緑化技術開発機構評議員会」
 - 31月「造園団体連携特別委員会」